



15 陸の豊かさも守ろう



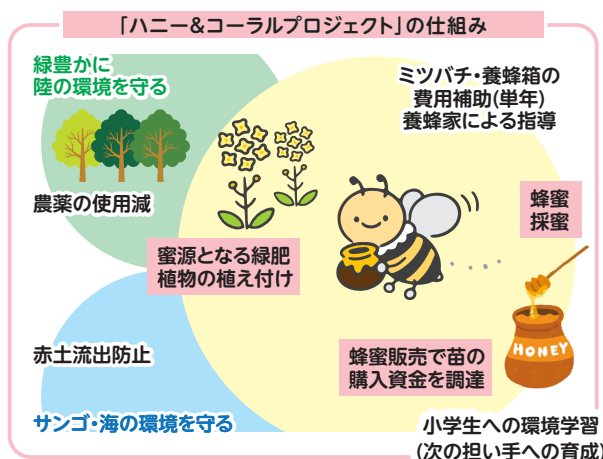
目標15 陸の豊かさも守ろう

蜜原花木の森づくり ハニー&コーラルプロジェクト

世界の陸が抱える課題

現在、地球上には陸地面積の31%以上を占める約40億ヘクタールの森林があります。しかし、世界の天然林の面積は2000年から2010年までの平均で毎年520万ヘクタール減少しています。森林とその周辺の湿地、河川、湖沼などは、広範囲にわたる生態系と生物多様性を守っています。しかし、森林破壊や砂漠化が進むと生態系のシステムが崩壊し、様々な生物の絶滅を招くこととなります。

出所：環境省(国際的な森林保全対策)



ミツバチを使った環境保全 ハニー&コーラルプロジェクト

恩納村は、環境を保全する取り組みの一つとして、「いち農家・いち養蜂」を合言葉にハニー&コーラルプロジェクトを実施しています。

村内の農家さんに養蜂を普及し、住民や観光客が恩納村の美しい環境と豊かな生態系を感じられる魅力的な地域環境を育み、採れたハチミツを用いて地域経済への貢献を目指しています。

その蜜源となる花、木を裸地の畑などに植樹し、ミツバチが住みやすい環境を整えることで陸域が豊かになり、自然の恩恵を受けながら緑多く華やかで、赤土流出の少ない陸域環境になることを目指しています。

なぜミツバチなのか

ミツバチは、花と緑、きれいな水が豊かな場所でないと生きていくことが難しいので、「環境指標生物」とも呼ばれています。つまり、ミツバチが元気に活動できる村は、それだけ緑が豊かでクリーンな環境だということです。

また、ミツバチが授粉に一役かった樹木には、実を食べようと、鳥など他の生き物が集まって生物多様性に大きな役割を果たします。

さらに、ミツバチが集めた美味しい蜂蜜を取り出す「採蜜」を体験することで、自然と共生していることを実体験し、大人も子どもも楽しく環境学習ができます。

このような仕組みが定着していくと、美味しい蜂蜜を生産するために、蜜源を増やしなが、極力農薬を減らそうというインセンティブが生まれます。それがこのプロジェクトの大きな目標です。



Honey & Coral Project



グリーングリーンの実施

毎年3月5日「サンゴの日」に実施されているセーブザコーラルプロジェクトにて、蜜源花木の森づくりを実施しています。

一昨年は、イペー35本、桜35本。昨年はイペー15本、桜20本の合計105本の蜜源花木の植樹を行いました。

また、地域住民と協力しながら植樹場所や周辺の陸域の清掃活動グリーングリーンを行っています。

今年度も開催が予定されていますので、ぜひ参加してみたいでしょうか。

GREENCLEAN(グリーングリーン)とは?
農林水産課が始めた環境保全活動で、いまでは当たり前になった「ビーチクリーン」の陸域バージョン



恩納村のSDGs
取組情報

お問い合わせ:企画課 ☎966-1201